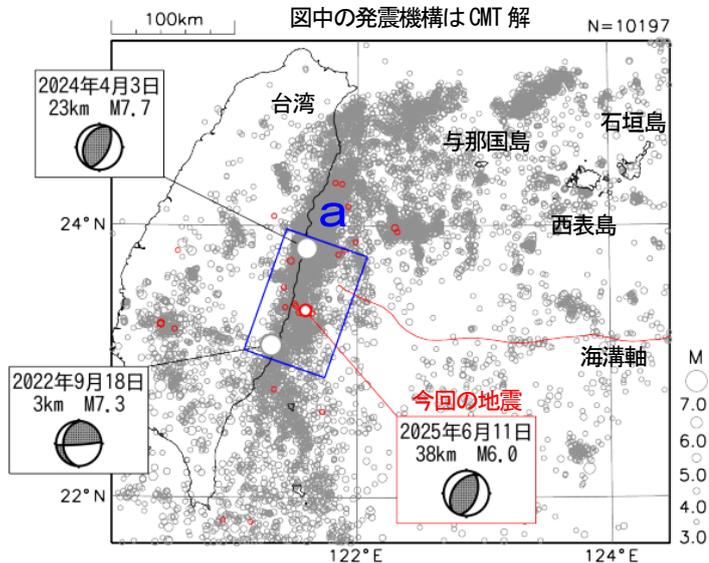


# 6月11日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日~2025年6月30日、  
深さ0~300km、M $\geq$ 3.0)

2025年6月の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解

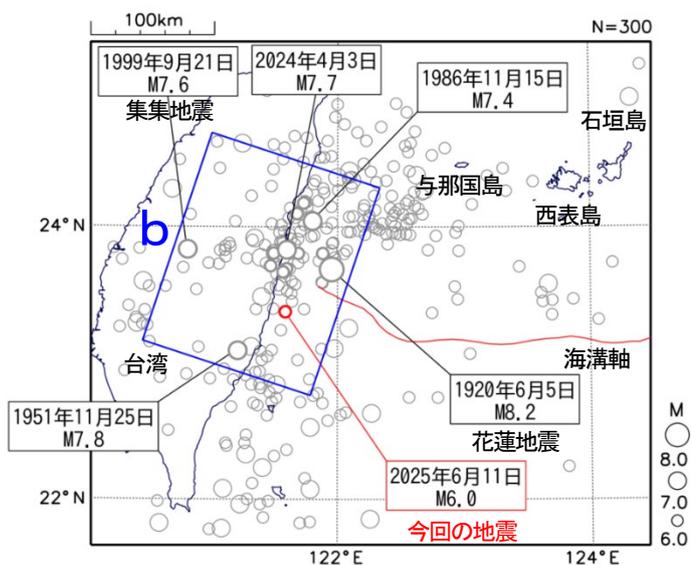


2025年6月11日20時00分に台湾付近の深さ38kmでM6.0の地震(日本国内で観測された最大の揺れは震度2)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近(領域a)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2022年9月18日のM7.3の地震(日本国内で観測された最大の揺れは震度1)が発生したほか、2024年4月3日のM7.7の地震(日本国内で観測された最大の揺れは震度4)では、与那国島久部良で27cm、宮古島平良で25cm、石垣島石垣港で17cmの津波を観測した。

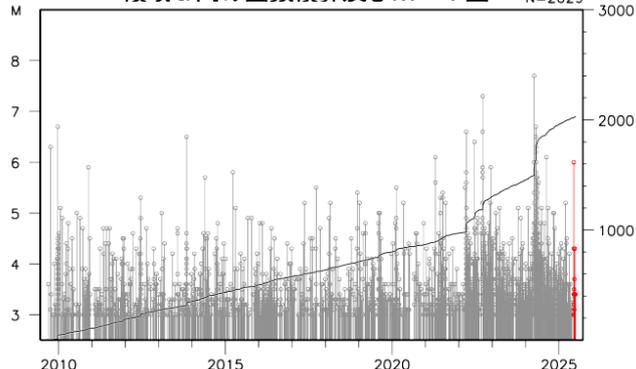
震央分布図

(1904年1月1日~2025年6月30日、  
深さ0~100km、M $\geq$ 6.0)



2020年までの震源要素はISC-GEM  
2021年以降の地震の震源要素は気象庁による

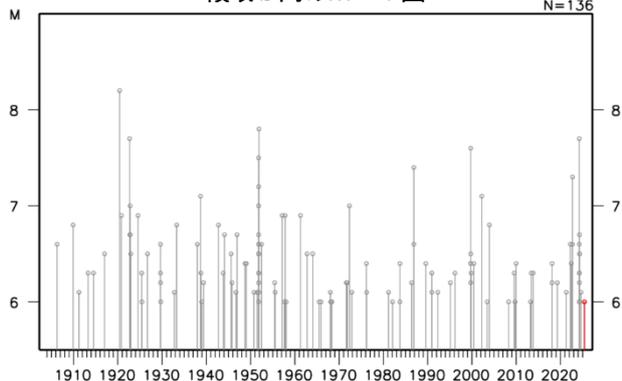
領域a内の回数積算及びM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1920年6月5日に花蓮地震(M8.2)が発生し、台湾では死者5人、負傷者20人などの被害が生じた。1986年11月15日のM7.4の地震(日本国内で観測された最大の揺れは震度3)により、宮古島平良で30cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害が生じた。1999年9月21日に集集地震(M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2)が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた。

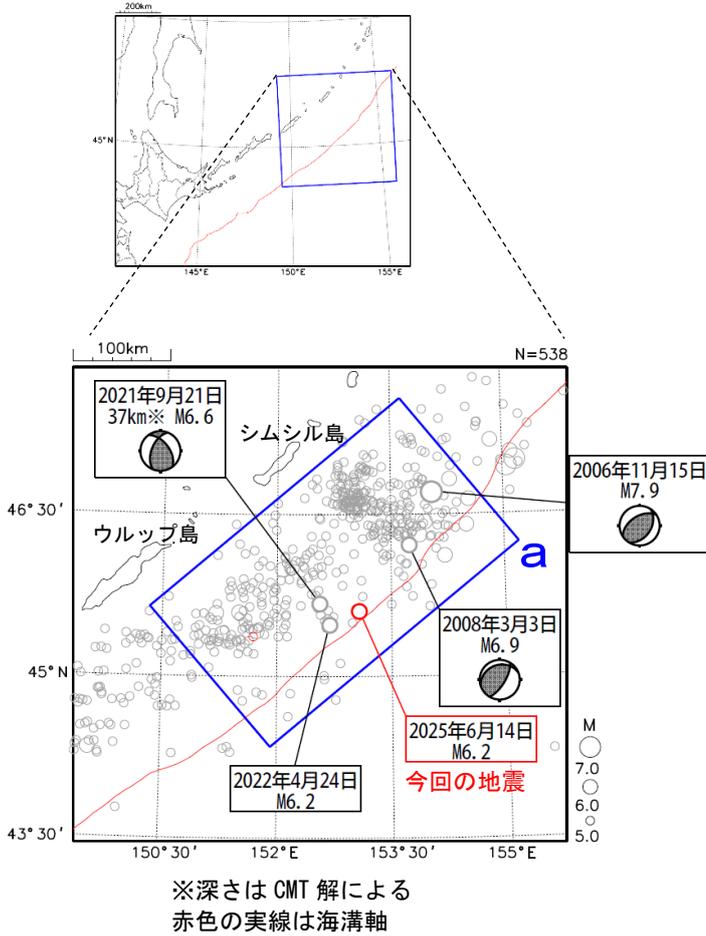
(被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による)

領域b内のM-T図



# 6月14日 千島列島の地震

震央分布図  
(1977年10月1日～2025年6月30日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )  
2025年6月の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解

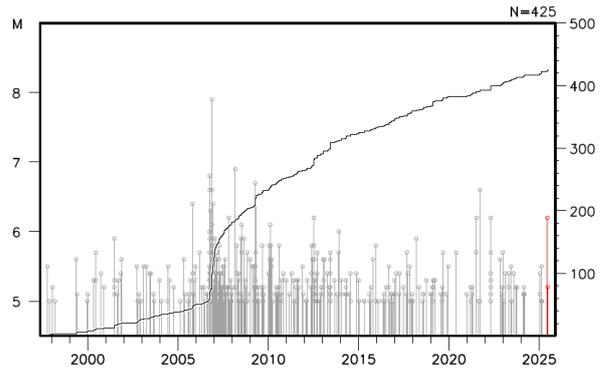


2025年6月14日03時35分に千島列島でM6.2の地震（日本国内で観測した最大の揺れは震度1）が発生した。

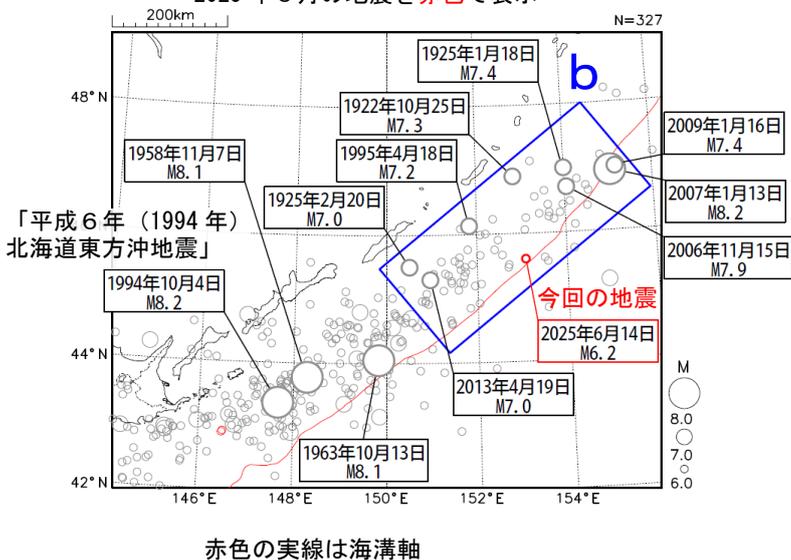
1977年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2006年11月15日に発生したM7.9の地震では、北海道で震度2の揺れを観測したほか、三宅島坪田で84cmなど、オホーツク海沿岸から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生している。2007年1月13日の千島列島東方（シムシル島東方沖）で発生したM8.2の地震では、北海道から東北地方にかけて震度3の揺れを観測したほか、三宅島坪田で43cmなど、北海道日本海沿岸北部からオホーツク海沿岸、太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1919年1月1日～2025年6月30日、  
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )  
2025年6月の地震を赤色で表示



領域b内のM-T図

